



岡田 舞子

1993年岩手生まれ、半年間で少し大人に成長してみたいと考えております。

撮影テーマ

撮影地は自然に囲まれる聖地です。岡田は大自然の中で生まれ変わっています。

最近のエントリー

- ▶ 引き続き
(2013.07.17)
- ▶ アシヨカさん
(2013.07.11)
- ▶ 鉄道万歳。
(2013.07.07)

アーカイブ

- ▶ 2013年10月
- ▶ 2013年09月
- ▶ 2013年08月
- ▶ 2013年07月
- ▶ 2013年06月
- ▶ 2013年05月
- ▶ 2013年04月
- ▶ 2013年03月

投稿カレンダー

カテゴリ一覧

ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE

OLYMPUS
Your Vision, Our Future

OLYMPUS
STYLUS XZ-2



HOME / 海外フォトフィールドワークWeBlog / 單純に... / 2013年07月 アーカイブ

● 海外フォトフィールドワーク WeBlog

Blog

単純に。

● 引き続き

[Tweet](#)[Check](#)

おはんです。岡田です。

三日ほど前にカトマンズからナラヤンガードに移動いました。

お決まりのうまくいかない移動。

カトマンズから5時間ほどでナラヤンガードにつくはずが

9時間ほどかかりました。

バスの人にナラヤンガードでおりると伝え、私も外の風景を気にしながらのっていました。ナラヤンガードの看板がみえたのでここはナラヤンガードか?と聞くと、違う座ってろ、とそのあとしつこくナラヤンガードはまだかと聞くけど違うという。のっているとどんどん田舎に行き、終点に到着。ここはどこだと聞くとナショナルパークって、、、、、全然違う。チトワニ国立公園!なんでおろしてくれなかったのか聞くと、しならなかつた、ナショナルパークに行くんだと思ってたって、え、再三いったのに、町までつれてっていうと無理と。



ここからが問題ここはタクシーなにもない。でれない、、、
ホテル勧説の人はたくさんいたので聞くと馬鹿高い。1時間ほど
そこでホテルの人とはなしホテルまでいきタクシーを読んで
もうらうと3000円、高い、無理。

ねぎってねぎって結局馬でバス停までいくことに、、

普通だったら1時にはつくはずだったのに。

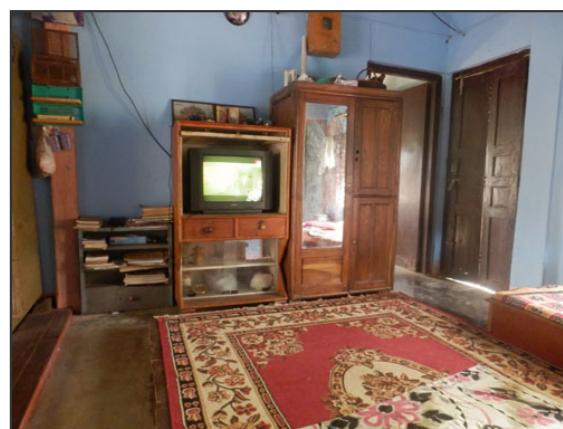
と思いながら馬に30分ほどゆられバス停にいきそこでナラヤンガードまで
なんとか到着しました。

先にナラヤンガードにいた。たけかりには迷惑かけました。すみません。

ナラヤンガードにはデブガートの撮影のための滞在です。

デブガートは一瞬撮影地としてちょっと考えてたのとは違うかな
と思いましたが、2日目3日目はいい場面に出会えてすごくよかったです。

ネパール人のお宅にお邪魔。



バス待っていたら話しかけてきた。



撮影していたら話かけてきた。FW初めての同い年のアジア人。



ナラヤンガードからの移動は途中脱輪、具合の悪い女性に窓側の席を譲ったら一番後ろの席のシート割れ目でお尻がものすごく痛い移動になりました。

きっと中国ではついてくれる事を祈ります。
じゃなきゃ困る！

んだばね。

カテゴリ:

post by 岡田 舞子 | 日時: 2013.07.17 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

📷 アショカさん

[Tweet](#)

[Check](#)

こんにちわ岡田です。

ネパールはとても涼しくて過ごしやすいです。

ネパールに入国して局長と再会し、日本食をいただきましたが本当にネパールの日本食はおいしいです。

久しぶりの個人行動はナガルに移動でしたが、
私にはなにかに取り付かれているのではないかと
いうくらいの移動にはついていません。

カトマンズからナガルコットまではタクシーで行ったのですが
途中の道に工事の鉄骨が崩落して行き止まりになってました。

他の道は悪路でこのタクシーでは行けないといわれ、バスで行けどおろされ一緒に運転手とバスを探したがなく、1時間ほど待ったら道が開いて通れました。



ナガルコットからの帰り道はバスとタクシーで帰ってきたのですが、タクシーに乗っていたらパンという爆発音がして車が急停止。タイヤがパンクしました。



なんだかこれからの移動が恐怖です。

話は変わり、ナガルコットはとてもいいとこでした。
1期生が泊まっていた雲海ホテルにとまり奥さんのたみえさんには
良くしてもらい本当にうれしかったです。旅中に出会った日本人の中で1番
優しいかたでした。

奥さんもバックパッカーだったそうでお話がとても面白かったです。

ナガルコットで私はヒマヤラを撮影予定でしたが見れませんでした。
本当に雨期最悪です。運が良ければ見えるそうですが運がない私はどうしようもない。
日本の明治神宮でのお祓いも効果なしです。

霧に包まれる雲海ホテル



眺めは最高





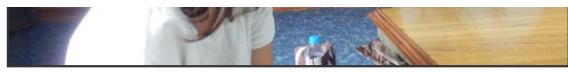
ナガルコットからカトマンズに戻り局長と一緒にFWのサポートをしてくれているアショカさんのお宅にお邪魔しました。

奥さんの料理とてもおいしくてたくさんごちそうになりました。

局長と河島英五のノウダラの女を聞きながらの食事楽最高でした。

奥の家がアショカさん家





アショカさんと奥さん。



momoもおいしかった！



アショカさん

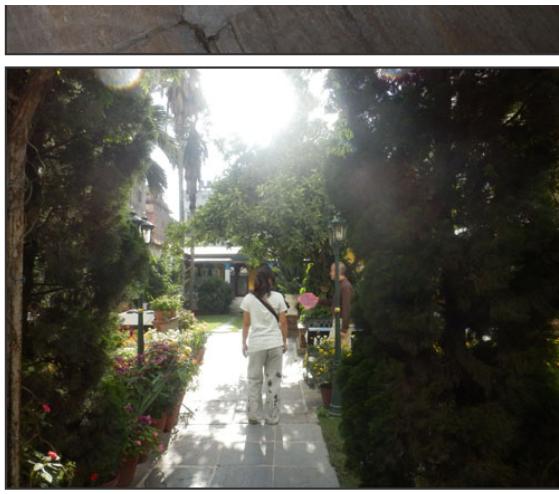


アショカさんの家を後にカトマンズホテルに向かいました。

ここはネパールかというくらいすごい中庭だった。
芝生をピーグルが走り回っているなんて、
ゆっくり局長とお茶をして、楽しい時間を過ごせました。
局長また日本でお会いしましょう！

ピートルズも泊まる





明日からはナラヤンガードにいきデブガートで撮影です。

んだばね。

■ 鉄道万歳。

[Tweet](#)

[Check](#)

おはんです岡田です。

インドでの列車移動が多かったのでちょっとまとめます。

インドの列車はIndia rail info というサイトで多分ほとんどの列車の運行状況が確認できると思います。

左上のfrom stationに出発駅を入力しto stationに到着駅を入力すれば
列車の列車番号が出てきます。

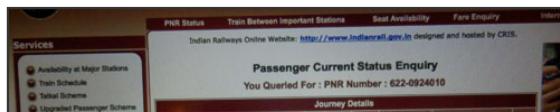
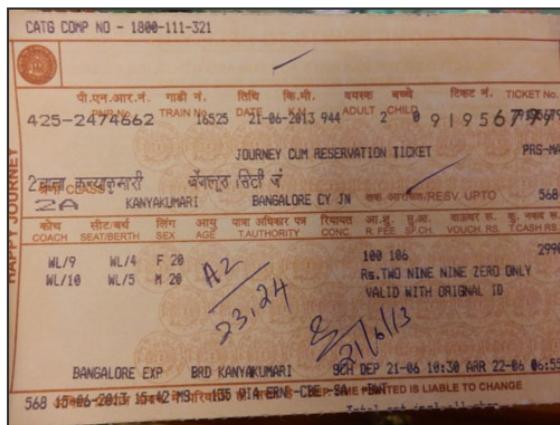
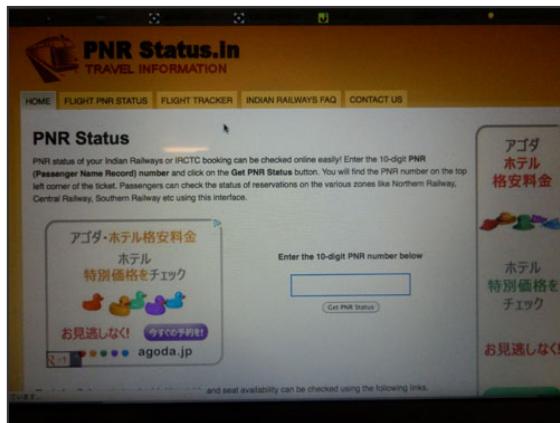
The screenshot shows the India Rail Info website's login page. It features fields for 'Email' (both 'From' and 'To'), 'Password', and 'Log In'. There are also fields for 'Nearest Railway Station' and 'Register'. A 'Forgot/Change Password' link is provided. Below the form, there is a section titled 'Login and Join the Community' with a bulleted list of benefits for members.

現地でチケットを購入するときインターナショナルカウンターではまず紙に
列車番号を書かなくてはならないのでそのときに役立ちます。

インターナショナルカウンターはチェンナイセントラル駅ニューデリー駅その他大きい駅にあると思います。ここは外国人がスムーズにチケットを手配することができます。

インドの列車にはW/Lというものがありこれはウェイティングリストのことなのでそれがこれをとってしまうとややこしいです。直前まで座席がわかりません。のれる保証は五分五分です。

チケットの左上にあるPNR No というナンバーをPNR status といいサイトに入力すると自分の座席のナンバー、コーチナンバーを知ることができます。W/Lの場合シートナンバーの欄が2~3日にまえにRAC表記にかわります。これは座席は確定していないが列車には乗れるということです。その表記は列車にのる4~5時間前に座席ナンバーとコーチナンバーにかわります。



Information		Number : 12401 Train No. : (DD-MM-YYYY) 4-7-2013		UPLN	
<input checked="" type="checkbox"/> Current Booking Availability <input checked="" type="checkbox"/> Train Birth Availability		*12401 MAGADH EXPRESS 4-7-2013 PNBE NOLS NOLS PNBE 1A			
Get Schedule					
S. No.		Booking Status (Coach No., Berth No., Quote)		* Current Status (Coach No., Berth No.)	
Passenger 1		CNF, GN		H1, 0 20	
Passenger 2		CNF, GN		H1, 0 20	
Charting Status		CHART PREPARED			
Train Status		TRAIN IS RUNNING LATE BY 94 Hours(s) and 20 Minutes(s)			
* Please Note That in case the Final Charts have not been prepared, the Current Status might upgrade/downgrade at a later stage.					
LEGENDS					
Symbol		Description			
CAN / MOD		Cancelled or Modified Passenger			
CNF Confirmed		Confirmed (Coach/Berth/Quote) will be available after chart preparation.			
RATC		Reservation Against Cancellation			

このPNR status というサイトは非常に便利で自分のとった列車が始発駅なのかや、途中駅なのかをしらべられたり列車の遅れも確認する事ができます。

ただあくまでネットが使える環境にいなければ意味がありません。

2等車からは始発駅だと自分の名前が張り出されそこで座席を確認する事ができます。

SOUTHERN PART FOR BANGALORE EXP OF 21 Jun 2013 COACH : A2 CONTD. PAGE NO. 5				
23	MAIKO OKADA	F20 4252474662	CAPE SBC	91956797
24	TAIGA SHINGO	M20 4252474662	CAPE SBC	91956797
25 HO	JARSHAD NK	M35 4452624145	CBE SBC	P 4152443460
26 HO	NAJIBA K	F26 4452624145	CBE SBC	P 4152443460
27 HO	JASEELA TV	F45 4452624145	CBE SBC	P 4152443460
28 HO	HAMEETHA TV	F43 4452624145	CBE SBC	P 4152443460
29	RT CHACKO	M83 40054644489	KTYM SBC	Z 70768509
30	PC ABRAHAM	M71 4252412562	KTYM SBC	E
31 CK	NISHA	F50 4152405577	PVRD SBC	87229382
32 CK	ANILKUMTHA	M54 4152405577	PVRD SBC	87229382
33 CK	ANJU	F54 4152405577	PVRD SBC	87229382
34 CK	JEBIN KURIAN	M26 4706305918	TRVL SBC	L53
35 CK	SHANGIKANTH	M52 4152405577	PVRD SBC	010

始発駅でない場合は列車の乗車口付近にステッキを着たおじさんがいるのでその人に確認するのもいいと思います。

エアコンは寒いので大変ですが、だいたい2等車からは夕飯や昼ご飯を聞きにきててくれて、そこでノンベジ、ベジとか言えば食事が食べれます。

インドの列車はだいたい遅れます。到着も遅れます。遅れ方は日本人が想像できないレベルです。

駅の人はだいたい本当のことを教えてくれませんが、エンクワイアリーや駅員にさくのがぶなんです。（この人たちもたまに嘘をつきます）

インドの鉄道移動は大変ですが、ちゃんと列車に乗れたときの安心感は本当に半端ないです。

インドに来たらぜひ鉄道移動を。楽しい楽しい旅が待っています。

カテゴリ:

post by 岡田 舞子 | 日時: 2013.07.07 | [パーマリンク](#) | [コメント \(0\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

マダム岡田

[Tweet](#)

[Check](#)

こんにちは岡田です。

カニヤクマリでハローマダムと会うインド人男性ほとんどの人にいわれた気がします。

インドは怖い国というイメージしかありませんでしたが、インドでの旅を終えるとインドは面白い国の印象しか残っていません。

南インドにはいいインド人がたくさんいました。

北インドには冷たいインド人がたくさんいました。

最南端から最北近くまで移動する予定でしたインド北部の洪水被害のため急遽、イラバード、ブッタガヤ、ラージギル、パトナに行く事になり、大変でしたがインドを堪能できた気がします。

後半の大きな移動はすべて列車でした。本当に大変だった。

列車は待ってもこない、デリー駅の列車はどこかえ消えて、雨がぶり、疲れているのにインド人家族と仲良くなつて寝台ではあまりねれない。エンクワイアリーのおじさんは優しくないし、みんな嘘をつく。

今まで行った国の中で一番疲れた気がします。

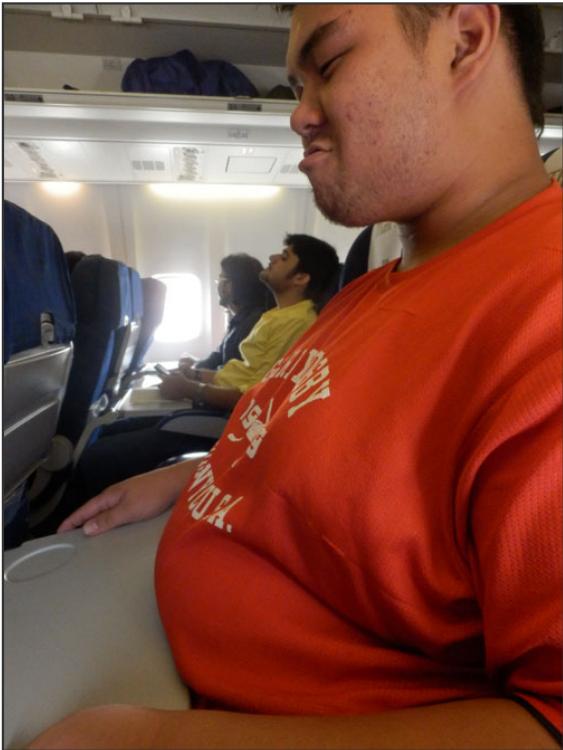
ただ移動のほかはいい場所にいけました。

では写真でハイライト。

タイガくと食事



デリーまでの飛行機



カニヤクマリ駅



デリー駅





移動中に話しかけてきた家族と。



ひげが自慢のお父さん。



ブッタガヤ

ホテルはなんとバスタブ付き。インドでバスタブに会えるとは思わなかった。
けど水しかでないから意味はない。



▶

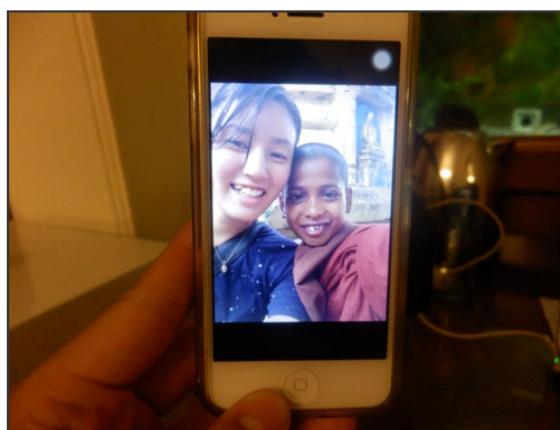
ブッタが悟りを開いた木



マハボディ寺院



仲良くなった少年僧



野ぶた発見

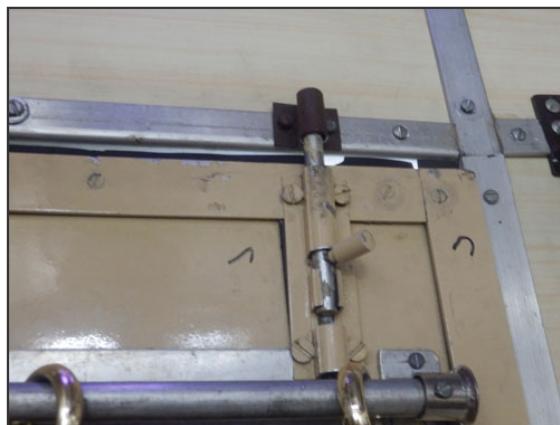


ブッタが悟りをひらいたこの地には多くの僧侶がいて寺院も
各国のものがあります。祖母の家はお寺なのですごく懐かしいかおりと音がきけて
とても安心できる場所でした。

そして祖母が言う舍利礼を聞きたいなと
ふと思いました。

長いインドを終えデリーまで1等車で凱旋帰国。

二人ペヤ。鍵つき、食事はおいしい。



んだばね。

カテゴリ：

post by 岡田 舞子 | 日時: 2013.07.06 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

▲ Pagetop